

令和6年度神奈川県高等学校教科研究会情報部会  
情報科実践事例報告会

# 個別最適な学びを目指した 自由進度学習の授業実践

2024年12月26日

鹿児島県立鶴丸高等学校  
教諭 春日井 優

# 個別最適な学びを目指した 自由進度学習の授業実践

## 今日の内容

- 1 従来の授業での疑問・情報Ⅰの授業での疑問
- 2 この数年の取り組みとのつながり
- 3 授業の進め方
- 4 効果と課題

# 個別最適な学びを目指した 自由進度学習の授業実践

## 今日の内容

- 1 従来の授業での疑問・情報Ⅰの授業での疑問
- 2 この数年の取り組みとのつながり
- 3 授業の進め方
- 4 効果と課題

## 一斉授業をしながら感じていた疑問

---

★ 生徒の理解度など一人一人異なるのに、なぜ同じペースで授業をしているのか？

- ・ 教員が説明している時間は、生徒にとっては受け身になりがち
  - ▶ ノート（プリント）への記入は単なる転記になりがち
- ・ コンピュータの操作を伴う場合には、得意な生徒と苦手な生徒との進度の差がつくため
  - ▶ 得意な生徒は、待たされて飽きてしまう
  - ▶ 苦手な生徒は、操作に終始するだけになってしまう

## グループ活動を取り入れた授業をしながら感じていた疑問

---

### ★ 誰のための、何のためのグループ活動なのか？

- ・ 話し合いといいながら不十分な時間しか与えられず、考えが十分に深まらないまま終了時間を迎えてしまい消化不良に終わってしまうことが多い
- ・ グループによっては、話すことが得意でない生徒が多いため沈黙を耐えることもある
- ・ 予定調和のほぼ結論ありきのテーマでの話し合い



## 情報 I を指導しながら感じた疑問

---

★ 共通テストをゴールにしてよいのか？

- ・ 与えられた問題を正確に解くだけでよいのか？
  - ▶ 実際の場面に知識を適用して考える経験
  - ▶ コンピュータを使って情報を処理する経験
  - ▶ 生徒の創造性を発揮する機会 などが必要

# 個別最適な学びを目指した 自由進度学習の授業実践

## 今日の内容

- 1 従来の授業での疑問・情報Ⅰの授業での疑問
- 2 この数年の取り組みとのつながり
- 3 授業の進め方
- 4 効果と課題

## この数年間で取り組んだこと

---

2024年 全国高等学校情報教育研究会（愛知大会）  
観点別評価をどのように行っているか

2023年 全国高等学校情報教育研究会（愛知大会）  
短時間の動画を活用した授業  
－授業時間をどのように確保し，授業では何を行うか－

2022年 情報科実践事例報告会2022（神奈川 情報部会主催）  
創造的写経プログラミング授業のすすめ

⇒ 生徒が自分自身で学習をどのように進めるか

# 個別最適な学びを目指した 自由進度学習の授業実践

## 今日の内容

- 1 従来の授業での疑問・情報Ⅰの授業での疑問
- 2 この数年の取り組みとのつながり
- 3 授業の進め方
- 4 効果と課題

# 個別最適な学びとは

## ☆ 指導の個別化

教師が支援の必要な子供により重点的な指導を行うことなどで効果的な指導を実現することや、子供一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行うことなど

## ☆ 学習の個別化

様々な場を通じての体験活動から得た子供の興味・関心・キャリア形成の方向性等に応じ、探究において課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現を行う等、教師が子供一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することで、子供自身が学習が最適となるよう調整する

## 授業の進め方

---

シラバスで概ねの授業計画を示す  
(単元ごとの学習目標・学習内容・評価も含めて)

単元での教科書に掲載されている内容の説明動画と学習課題を  
ある程度早い時期にGoogle Classroomで配信する

生徒は配信された動画を見て予習する

授業中に自分の理解や興味などに応じて、  
生徒個別の進捗で学習課題を進める



## 授業の進め方①

---

シラバスで概ねの授業計画を示す  
(単元ごとの学習目標・学習内容・評価も含めて)

単元での教科書に掲載されている内容の説明動画と学習課題を  
ある程度早い時期にGoogle Classroomで配信する

生徒は配信された動画を見て予習する

授業中に自分の理解や興味などに応じて、  
生徒個別の進捗で学習課題を進める

- ▶ 他の生徒や教員と関わることなど、学校でないとできないことを中心に学習する

## 授業の進め方②

---

授業のペースは事前に定めた単元テストに合わせて生徒は学習を進める

- ▶ 進度が早い生徒は、十分にできていなかった課題を解き直したり教科書や問題集、事前に送信した動画を使って単元テストに向けて復習をする
- ▶ 授業内に終わらない生徒は、単元テスト終了後の一定の期日までに課題を終わらせて提出する

生徒は授業を進めながら、本時の目標、学習した内容、重要な点、振り返りなどをスプレッドシートに記入する

## 教員の役割

---

授業のはじめ数分間だけ一斉授業を行い、概ねのペースを確認させて多くの生徒の進度に合わせて目標を確認する

教室内を巡回して、生徒に応じた個別の指導をする

- ▷ 生徒同士で理解できない部分を個別に指導する
- ▷ 記述により解答する課題の十分でない点を指摘して再考を促す

情報 I としての科目の目標とそれを満たすための課題を設定する  
(どのように学習を進めるかは生徒が決める)

# 個別最適な学びを目指した 自由進度学習の授業実践

## 今日の内容

- 1 従来の授業での疑問・情報Ⅰの授業での疑問
- 2 この数年の取り組みとのつながり
- 3 授業の進め方
- 4 効果と課題

## 授業を変えたことでの効果

---

- ☆ 公欠を含む欠席者も欠席していない生徒と同じように授業を受けることができるようになった
- ☆ 学習した知識と関連したコンピュータの操作をする時間や知識をもとに思考したことを記述する機会を増やすことができた
- ☆ 単に説明を聞いているだけといった受け身の時間を大幅に減らすことができた
- ☆ 生徒が興味・関心をもった部分や自分で考えて解答したい内容は、時間をかけることができるようになった

## 授業を変えたことの課題

---

- ★ 時間配分を生徒に任せているため、  
単元テストに間に合わない生徒もみられた
- ★ 一斉授業のように教員主導で授業を進めていないため  
生徒の学習に抜け・もれが生じている部分がみられた
- ★ 学習課題を生徒が考えていないため、  
本質的な部分で個別最適な学びになっていない懸念がある